

教科名	国語	学年	2 学年
-----	----	----	------

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。
学年の目標	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり 理解したり することができるようにする。 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを まとめる ことができるようにする。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4	2	1 オリエン テーション	1 年間計画を理解し、見通しをもつ。	1 スピーチ（抱負等） 2 確認テスト（生徒実態把握）	【知識・技能】 1 段階：確認テストに出題されるような基本的な漢字の読み書きを覚え、スピーチ原稿に使うことができる。 2 段階：漢字プリントの内容を覚え、文章作成時に使うことができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：自身の抱負をまとめ、話すことができる。 2 段階：相手に伝わるように、言葉の抑揚や間の取り方を意識して話すことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をすることができる。
					評価方法：確認テスト、レポート提出、出席
5	3	2 川柳	【知識及び技能】 〈我が国の言語文化に関する事項〉 1 川柳の形式と歴史を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 〈書くこと〉 1 言葉の組み立て方などに、自分なりの工夫を凝らして川柳を詠むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1 言葉の使い方に興味関心をもち、語彙を豊かにすることができる。	1 1 7 音の形式を理解し、川柳を詠むことができる。(承諾が得られた生徒の川柳は、町教育委員会が編纂している町の文芸誌に応募する。)	【知識・技能】 1 段階：文の構成や表現する単語を考え、川柳を詠むことができる。 2 段階：単語の性質、意味を考え、文の構成に適した選択をしながら川柳を詠むことができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：自分の川柳の特徴をまとめて説明することができる。 2 段階：他者の川柳の特徴を聞き、自分の感想を話すことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をすることができる。
					評価方法：レポート提出、発表、出席
6	4	3 見学旅行	【知識及び技能】 〈情報の扱い方に関する事項〉 1 知りたい情報の調べ方を理解する。 2 旅行後の作文(感想文)の書き方を知 る。 【思考力、判断力、表現力等】 〈聞くこと・話すこと〉 1 訪問予定先のことを調べたり、集めた情報を整理したりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 1 自らの興味関心を周囲に伝えようと する意欲をもつ。	1 各々の iPad を使いながら、グループごとに自主研修先のことについて調べ、模造紙にまとめる。 2 見学旅行の記憶をたどりながら、感想文を書く。 【社会：北海道と日本の地理】	【知識・技能】 1 段階：様々な情報をまとめ、比較や分類をすることができる。 2 段階：何を調べ意識しながら文章を書くのかを理解し、あらかじめ文章の構成を考えながら情報をまとめることができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：訪問先の情報をまとめ発表することができる。 2 段階：訪問先の情報を集め、他のグループの情報を聞きまとめることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をすることができる。
					評価方法：レポート提出、発表、出席

7 ・ 8	4	4 物語	【知識及び技能】 〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉 1 フィクションとノンフィクションの違いなど、いくつかのジャンルがあることなどを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 〈読むこと〉 1 物語を読むことをとおして、内容を把握する力を養うとともに、違う視点からのものの見方や事実と虚構との違いを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 1 作品の面白さを知る。	1 フィクションとノンフィクションの作品を数点取り上げて、その違いを知るとともに、現実と虚構について考える機会とする。	【知識・技能】 1 段階：幅広く物語に興味を持ち、文章の構成や内容を理解して読むことができる。 2 段階：物語を通して必要な知識や情報を得ながら、文章の情報を読み解くことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：文章全体の構成を捉えて内容を捉えることができる。 2 段階：文章を読んで自分が感じたことをまとめて発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をすることができる。 評価方法：レポート提出、発表、出席
			【知識及び技能】 〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉 1 書き方を理解し、現場実習に生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 〈書くこと〉 1 自己アピールや感謝の気持ちを言葉で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 1 自分の進路決定に不可欠であることを知る。	1 履歴書とは何かなど理解を深め、書き方を身に付ける。 2 お礼状の意味を理解し、現場実習でお世話になった実習先に心を込めてお礼状を書く。 【職業：現場実習】	【知識・技能】 1 段階：履歴書の書き方を理解し、必要な情報をまとめて書くことができる。 2 段階：自身の経験を振り返り、言葉の意味を理解しながら、相手に感謝の気持ちを伝える文章を考え書くことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：自分のアピールポイントをまとめて話すことができる。 2 段階：自分が何に感謝しているのかをまとめ、感謝の気持ちが伝わるように話すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をすることができる。 評価方法：レポート提出、発表、出席
			【知識及び技能】 〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉 1 基本的な電話の受け方やかけ方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 〈聞くこと・話すこと〉 1 TPO(状況)に合わせた対応の仕方を考える。	1 電話の受け方、かけ方 2 言葉遣い 3 電話対応のマナー 【職業：働くこと】	【知識・技能】 1 段階：状況に適した言葉遣いや敬語の使い方を理解することができる。 2 段階：言葉遣いや敬語を状況に応じて使い分けることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：電話対応に応じた話し方をするすることができる。 2 段階：電話対応を通じて、相手の伝えたことを意識しながら聞き、内容をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をすることができる。 評価方法：レポート提出、発表、出席
			【知識及び技能】 〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉 1 日本の郵便システムについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 〈読むこと〉 1 伝えたいことを文章で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 1 コミュニケーションをもつことの喜びを知る。	1 年賀状を書くことをとおして、はがきや封書など、郵便について理解する。 2 手紙や SNS などの利用の仕方を学び、コミュニケーションの大切さや楽しさ、恐さ（禁忌）を理解する。	【知識・技能】 1 段階：はがきや封書など、書式の違いを理解することができる。 2 段階：書式の違いに応じた文章の書き方を理解し、書くことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：目的に応じた内容を話すことができる。 2 段階：自分の伝えたい内容を正しく伝えるにはどうすればよいか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をすることができる。 評価方法：レポート提出、発表、出席

1 ・ 2	4	8 かるた・百人一首	【知識及び技能】 〈我が国の言語文化に関する事項〉 1 伝統的な季節の行事や遊びの内容を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 〈聞くこと・話すこと〉 1 七五調の和歌を抑揚をつけて朗読できる。 【学びに向かう力、人間性等】 1 伝統的な季節の遊びを理解する。	1 短歌の形式を理解し、有名な作品を鑑賞する。 2 三十一音で、現代短歌を詠む。 3 しんとくふるさと歌留多でゲームを行う。	【知識・技能】 1 段階：短歌の形式を理解し、意味を読み取ることができる。 2 段階：単語の性質、意味を考え、文の構成に適した選択をしながら短歌を詠むことができる。
			【思考・判断・表現】 1 段階：抑揚をつけて短歌を詠むことができる。 2 段階：単語、文章ごとに抑揚や強弱、間の取り方を工夫して詠むことができる。		
			【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をするすることができる。		
			評価方法：レポート提出、発表、出席		
3	5	9 話し合い	【知識及び技能】 〈情報の扱い方に関する事項〉 1 テーマに沿って話し合いを進めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 〈聞くこと・話すこと〉 1 自分と他人の意見の違いに気付くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1 自分の考えを周囲に表現することを楽しむ。	1 3～4人のグループを作り、身近なテーマで話し合う。 2 模造紙にそれぞれの意見と結論がどうなったかをまとめる。 3 ワークシートを用いて、それぞれメモを取りながら話し合いを進める。 【自立活動：コミュニケーション】	【知識・技能】 1 段階：相手を見て話を聞き、相手を意識した話し方をすることができる。 2 段階：相手の意見を尊重しながら自分でまとめた情報をわかりやすく伝えることができる。
			【思考・判断・表現】 1 段階：互いの意見の共通点、相違点に着目して考えをまとめることができる。 2 段階：目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話すことができる。		
			【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：言葉の大切さを知り、適切な言葉で思いや考えを伝え合う姿勢を持つことができる。 2 段階：様々な文章や本に興味を持ち幅広く読書をすることができる。		
			評価方法：レポート提出、発表、出席		